

7 法明寺と雁塚…深江南3丁目16番

寺伝によると、創建は文保2年（1318）法明上人の創設とされる。上人は深江に生まれ12歳で出家し、高野山や比叡山で修行して郷里のこの地で草庵を営んだのが起源です。また、平野の大念仏寺を再興した僧でさまざまな逸話を残しています。

寺の境内には、鎌倉末期と南北朝期の大小2基の立派な四重の石塔があり、狩人に射ち落とされた雁の夫婦愛にまつわる説話が伝わっています。



雁塚

ある獵師が雁を射落としたところ首がなかった。そのあとに一羽の雁を射落としたところ別の首を抱いていた。これは夫婦が親子の雁だらうとあわれんで、2基の石塔を建てたものと伝えられています。



雁塚

江戸時代までに創建された寺

大今里にある**観光寺**は永徳年間（14世紀後期）、**西蓮寺**は元禄5年（1692）、**良念寺**は天明2年（1782）に創建された融通大念仏宗のお寺です。深江にある**真行寺**は慶長16年（1611）、東今里にある**光照寺**は寛文7年（1667）の創建、東小橋の**安楽寺**は正徳年間（18世紀前期）の再興で、湊土真宗本願寺派のお寺です。中道の**浄琳寺**は天文5年（1536）、中本にある**誓長寺**は慶長年間（17世紀前後）、深江の**光栄寺**と**長龍寺**は延宝5年（1677）以前に創建された真宗大谷派のお寺です。大今里にある**常善寺**は寛延元年（1748）に創建された本門法華宗のお寺です。

8 暗越奈良街道

大阪から奈良へ通じる旧街道として、5百年程前に開けた街道である。江戸時代、奈良への最短コースをとる街道として大変賑わったといわれています。

この暗越奈良街道が開けていなかった頃、難波から大和に行くには日本最古の国道といわれる竹内街道が利用され、また奈良時代には、難波宮から大和（平城京）に通じる最短の道があり「日下の直越道」といわれていたが、後の暗越奈良街道と一部重複する箇所もあると考えられています。近世になって、豊臣秀吉の天下統一と、弟、秀長の郡山城での大和支配など奈良との関係で重視されたと伝えられています。起点は高麗橋とされ、東成区の玉造より西から東へと通じ、暗越と呼ばれるように生駒山系の暗峠を越えて奈良に往っていたので、この名称の由来があります。現在も大今里辺りは、昔の街道を偲ばせるところがあります。

江戸時代中頃から、全国的にお伊勢参りが盛んとなり、多いときで一日7～8万人の旅人が賑わったといわれています。

明治時代に入ると交通機関の発達に伴い、この街道は殆ど利用されなくなりました。



暗越奈良街道

道標

奈良街道に沿って古い道標（道しるべ）が残されています。中道4丁目16番先9に「暗越奈良街道・高麗橋元標香里」と記されています。これは、高麗橋の道路元標からここが一里（約4km）にあたります。現在道路元標は、梅田新道交差点に移されています。

大今里西1丁目5番先10に「これより左三丁 常善寺」と記された道標があるが、これは江戸時代に大阪の芝居興業と大変深いかかわりをもつ常善寺への道が示されたものと思われま

す。現在道路元標は、梅田新道交差点に移されています。大今里4丁目27番先11に「右 志ぎ山、八尾久宝寺道 左 いせ、なら道」と記された、上部を四角にくりぬいて“火袋”とし、上に笠をのせた珍しい道標があります。文化3年（1806）に建てられ、夜間明かりを入れて旅人の便をはかったものといわれています。深江南3丁目21番先12に「法明上人…雁塚…」と記された法明寺への道標も寛政年代（1789～1801）のもので、また新しい道標として街道に沿って高麗橋元標から「36km」「4.1km」「4.6km」「4.7km」「4.9km」に設置し、今里筋には「いまさどならみち」道標を、深江南2丁目20番先には「暗越奈良街道」道標を設置しています。



常善寺への道標



火袋式道標



法明寺への道標

13 松下幸之助起業の地顕彰碑

松下幸之助氏は大正6年（1917年）に22歳で独立。当時の東成郡鶴橋町大字猪飼野1399-1400番地（現在の玉津2丁目）の借家で、改良ソケット作りを始めました。その後、松下氏は福島区に移り、「松下電気器具製作所」を立ち上げ世界的な企業に発展させることになりました。その起業の地が東成区にあったことが明らかになり、平成16年に顕彰碑が建立されました。碑文には東成の地がもつくり文化の風土を培ってきたことが記されています。

14 四代目桂米團治顕彰碑

四代目桂米團治は、現在の東成区役所駐車場にあたる地に住んで「中濱代書事務所」を開業し、その代書業の体験を元に後に上方落語の傑作といわれる「代書」を生み出しました。平成21年は落語「代書」の初演70周年にもあたり、「中濱代書事務所」の地に顕彰碑が

建立されました。



四代目桂米團治顕彰碑